

平成23年度事業計画書

1 平山郁夫とシルクロードに関する美術品等の収集と公開、海外展協力をを行い、シルクロード文化並びに日本画の理解を内外に普及させる。

(1) 展示

1) 春季企画展

-1) 企画展「神々のインドネシア」 前年度より継続
4月1日(金)～5月30日(月) (3月4日(金)より継続)
展示場所：展示室2、展示室3

-2) 企画展「平山郁夫と玄奘三蔵の道展」 前年度より継続
4月1日(金)～6月27日(月) (1月19日(水)より継続)
展示場所：展示室5

-3) 企画展「日本の風景展」 前年度より継続
4月1日(金)～6月27日(月) (3月4日(金)より継続)
展示場所：展示室6 (2階大展示室)

2) 常設展「シルクロードの名品展(2) 故平山郁夫寄贈作品より」 (830千円)
6月3日(木)～6月27日(月)
展示場所：展示室2、展示室3、展示室4

3) 夏季企画展

-1) 企画展「平山郁夫 文明の十字路を往く 最後の大シルクロードシリーズ」
7月1日(金)～10月24日(月) (1,590千円)
展示場所：展示室2、展示室3、展示室4、展示室5、展示室6 (2階大展示室)

4) 秋～冬季企画展

-1) 企画展「メソポタミア文明を知る」
10月29日(土)～2012年3月12日(月) (4,590千円)
展示場所：展示室2、展示室3、展示室4 (1～3)

-2) 企画展「平山郁夫が見たオリエント世界」
10月29日(土)～2012年3月12日(月)
展示場所：展示室5

-3) 企画展「平山郁夫 フォロ・ロマーノと大シルクロード」
10月29日(土)～2012年3月12日(月)
展示場所：展示室6 (2階大展示室)

5) 次年度繰越企画展

-1) 企画展「中国少数民族の染織」 次年度継続事業
3月16日(金)～3月31日(土) (5月28日(月)まで継続) (1,090千円)
展示室2、展示室3 (1～2)

-2) 企画展「平山郁夫 中国の秘境を往く」(仮称) 次年度継続事業
3月16日(金)～3月31日(土) (6月25日(月)まで継続)
展示室2、展示室3

(2) 貸出事業

- 1) 「龍谷ミュージアム開館記念・親鸞聖人750回大遠忌法要記念「釈尊と親鸞」」への貸出
内容：経典を1点貸出 期間：2011年4月5日(火)～5月22日(日)(第1期)
- 2) 「栄光のペルシア展」(古代オリエント博物館)への貸出
内容：2010年秋当館開催企画を貸出
- 3) 「世界七大文明展(吉村作治監修)」(仮称)全国巡回展への貸出 内容・期間：未定
内容：ギリシア・ローマ及びガンダーラ関連収蔵品(会場により変更予定)
会期：6月～2年間全国巡回(出品会期末確定)
- 4) 「ウズベキスタンの染織と陶器展」(シルク博物館)への貸出
内容：2009年春当館開催企画を貸出(詳細未定) 会期：10月8日～11月6日まで(予定)
- 5) 「手塚治虫のブッダ展」(東京国立博物館)への貸出
内容：ガンダーラ仏伝浮彫2点 会期：4月26日～6月26日(本館特別5室)

(3) 主な収蔵品の画像資料をホームページにて公開

(4) 展覧会図録の刊行(年1回)

(5) 「平山郁夫シルクロード美術館ニュース」の刊行(年2回)

2 平山郁夫とシルクロードに関する研究並びに海外調査研究に対する助成を行い、わが国の学術研究の向上に資する。

(1) 収蔵品に関する調査研究

- 1) 平山郁夫取材旅行に関わる平山美知子フィールドノートのデジタル化
内容：アフガニスタン、トルコ、メソポタミア(展覧会準備関係)
- 2) 平山美知子氏寄贈資料の調査研究およびデータベース化
内容：平山郁夫氏スケッチブック、本画、素描、大下図、下図、習作等
- 3) 平山郁夫撮影ポジフィルムの調査およびデータベース化
内容：アフガニスタン、トルコ、メソポタミア(展覧会準備関係)
- 4) 収蔵品の調査研究およびデータベース化
内容：中国出土の収蔵品の調査研究およびデータベース化
* 館外の中国美術・考古学専門家に一部調査依頼
- 5) 平山郁夫関連のVHS等フィルム等データのデジタル化

(2) 海外調査研究に対する助成 (1,000千円)

- ・大学生、大学院生、専門家のシルクロードに関する調査研究を支援(300千円×2～3名)
- ・シルクロード関連の研究者の招聘(400千円)

(3) 紀要の刊行の準備(各年事業) * 次回は平成24年度に刊行予定

- 3 平山郁夫とシルクロードに関する講演会、講習会等を開催し、シルクロードの文化の理解を普及させる。** (936千円)
- (1) 展覧会に関する講演会の開催(年3回)
 - 上期：インドネシア関係1回、下期：メソポタミア関係2回
 - (2) 体験教室の開催(年4回)
 - 7月・10月：染色体験教室、9月：日本画体験教室、11月：ペルシア書道体験教室
 - (3) 青少年向け(ワークショップ)企画(年3回)
 - 5月・7月・9月に開催
 - (4) コンサートの開催(年3回)
 - 5月21日：ガムラン(バリ島の舞踊と音楽)コンサート、9月17日：ウクライナの民族楽器とソプラノコンサート、10月27日：メソポタミア関連チェロコンサート
 - (5) 民族衣装体験コーナーの設置(展覧会により内容変更)
- 4 美術館施設の開放、平山郁夫とシルクロードに関する小中学校生向けの刊行物の制作頒布を通じ、小中学校における美術教育の向上を図るとともに、シルクロードの文化の理解を普及させる。**
- (1) 地元小中学校の教員・生徒に対する美術館の開放及び学習協力、教材制作
 - (2) 小中学生を対象とした「シルクロード読本」(仮称)の頒布 (900千円)
 - *平成22年度(制作)継続事業
 - (3) 教育普及事業
 - 1) 第3回平山郁夫絵画教室
 - 教育委員会の協力を得て、美術館の地元小学生約160名を対象とした第3回絵画教室(420千円)を開催。講師は宮廻正明(みやさこまさあき/東京芸術大学教授)氏を予定。
- 5 地域文化活動に参加協力することにより地域の文化的資質を向上させる。** (100千円)
- (1) 絵手紙コンテストの実施
 - 1) 美術館内にて実施
 - 2) 地元のイベントやお祭り会場へ出張
 - (2) 地域の協議会等への参加
 - (3) 地域創作作家の展覧会開催の協力(施設貸与)
- 6 ミュージアムグッズの開発、及びミュージアムショップの運営によりシルクロード文化の理解を普及させるとともに、法人財政の強化に資する。**
- (1) 展覧会時におけるグッズの製作
- 7 その他目的を達成するために必要な事業**